

令和4年度
盛岡ペットワールド専門学校
自己点検・評価委員会結果報告書

令和5年3月

令和4年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡ペットワールド専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

令和5年3月

学校法人 龍澤学館
理事長 龍澤 尚孝

令和2年度 盛岡ペットワールド専門学校 自己点検・自己評価委員会結果報告書

1. 学校の教育目標

「人と動物のより良い関係づくり」「ペット業界において真に活躍できる人材育成」

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 教育内容(実践型授業の強化、専門授業強化における教員の指導力向上)
- (2) 学生支援(学生のキャリアパスにおける支援内容の体系化の実現)
- (3) 社会的活動

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	学校の理念、人材育成像について目標を設定している。学生一人一人が、学校理念を理解し、個人の成長を目的とした目標設定や計画までは進んでいるが、実行と達成については課題が残った。また、学校理念や目標を保護者に周知することや、その活動により学生の成長をバックアップする環境整備も課題が残っている。	
改善策	カリキュラムポリシーやデュプロマポリシーを設定してカリキュラムを作成している。一人一人の目標や評価方法、成長について実施しているルーブリック評価などを保護者に周知するとともに、職員全体で把握できる状況を整備する。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2
課題	教育活動等に関する情報公開は、授業計画表などをホームページを活用して行っているが、授業の様子や課外活動、インターンシップ、ボランティア活動なども積極的に公開をすることで、取組みを広く周知する。業務運営の効率化については、新たな手法を取入れられず、従来の手法のみで業務に取り組んでいる。	
改善策	授業の終了時間を早期化することで、教職員の研修などに取組む時間を確保する。また、効果的な情報公開を促進する。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課題	校内での実習を含め、インターンシップ実習やボランティア活動など企業や団体等の外部と連携をして学生の成長を支援している。優秀な教員の確保を目指す活動が不足している。職員の研修などについては、最低限の取組みとなっている。	
改善策	教職員の採用についてはグループ全体の課題として取り組む。職員の研修などについては、授業終了時間の早期化などにより機会の増加を目指す。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
課題	就職内定率と資格合格実績については、高い結果となった。退学者に関しては、学校一丸となつての取り組んだものの例年よりも高い状況となった。卒業生の支援として、卒業生向けの就職情報の提供などは継続して実施しているが、卒後教育につながる取組みには課題が残った。	
改善策	退学者防止については、ミーティングの機会での職員間の情報交換の機会を増やす。また職員の健康維持を目指し、適切な労働環境とする。、卒業生へのフォローアップについては、卒業生と学校、及び卒業生同士が情報交換をできる状況を確立する。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	経済的支援体制については、昨年度から引き続きグループ全体での経済支援を加え充実させている。また、高等教育の修学支援新制度による学費無償化の対象校として、制度を案内している。就職などの進路についても、昨年度に続き高い実績を残すことができた。より高い教育効果を目指し、卒業生を対象とした内容も検討する。	
改善策	卒業生については、動物看護師（愛玩動物看護師）の国家資格化に向けた情報を学校からも提供をすることで、支援をする。卒後教育に関しては、準備期間を設定して取り組む。授業の終了時間を早期化することにより、準備と実行ができる体制とする。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
課題	学生の成長に向けて、教育パソコンやタブレット端末を活用した教育環境の整備が必要である。また、その授業素材の研究や開発も必要となる。	
改善策	パソコンの整備、タブレット端末の使用環境の整備について計画を進めている。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
課題	SNSを活用した広報活動の推進、高校訪問による広報活動などにより入学者の減少は最小限で抑えられた。家庭動物分野以外で、動物園や水族館での飼育員を目指す高校生が増加傾向にある。	
改善策	動物関連での活躍や社会的意義、動物看護師（愛玩動物看護師）の国家資格化などについて、生徒のみならず保護者、高校教員、および社会人についても伝えていく。動物園や水族館の飼育員を目指すことができる授業内容を導入する。小中学生、保護者向けの仕事の体験会等を継続して実施する。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
課題	—	
改善策	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報についてはすでにホームページで情報公開している。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
課題	法令等適切に遵守し、運営を行っている。個人情報保護については継続して教職員の意識向上を怠りなく徹底していく。	
改善策	第三者評価の実施に向け、継続しての仕組み作りをグループ全体で構築していく。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
		今年
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
課題	本校の強みである、地域貢献、動物愛護週間でのボランティア活動など数多く取り組んでいる。	
改善策	地域ニーズを関連団体等の連携により収集し、よりきめ細やかな支援を展開していく。	

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校関係者評価委員会、及び、教育課程編成委員会における提言を教育活動の改善につなげる学校主体の取組みは浸透しているが、グループ等で行う内容については課題が残る傾向がある。学生募集に関しては、動物関連分野の理解につながる活動を取り入れながら行ってきた成果はあったが、家庭動物分野の学びだけではなく、野生動物に関する学びの充実も目指す。地域貢献活動は、回数や内容について充実している。一方で地域に貢献できる教育機関として更に成長をするため、関連団体との連携強化を推進する。教育の質の向上や業務の効率化については、授業終了時間の早期化により推進をする時間を確保して取り組む。

令和5年度 第1回学校関係者評価委員会

日時：令和5年8月2日（水） 14時～14：45分

場所：盛岡ペットワールド専門学校 4F 401教室

1. 開会・校長挨拶

工藤：昨年度より「愛玩動物看護師」の国家資格試験がスタートし、本校の学生及び卒業生も受験し、合格率は87.1%という結果。合格率90%を超える学校もあることから、さらに実績を伸ばせるよう指導について強化して参ります。学生が多様化し、指導やサポートが大変な学生もいますが、教職員一丸となって頑張っています。本日は現場のご意見を頂戴して教育に生かしたいと考えております。忌憚ないご意見をお聞かせください。

2. 委員の紹介

	所属	役職	氏名
委員長	盛岡ペットワールド専門学校	校長	工藤 昌雄
副委員長	盛岡ペットワールド専門学校	校長代理	三上 祐太
委員	岩手県獣医師会	会長	佐々木 一弥
委員	岩手大学動物病院	動物看護師	袖林 美波
委員	ちだ動物病院	動物看護師	芦萱 夏海
書記	盛岡ペットワールド専門学校	事務局	下斗米 恵

3. 令和4年度自己点検評価報告

1. 学校の教育目標

- ・令和5年度教育方針について説明

コンセプトは人と動物のより関係づくり

3つの柱（基礎的な力、専門授業、実践力）

校内及び校外の実習、イベント、モデル犬実習

人間育成スキルマップについては、定期的に見直し、学科ごとに準備している。

導入してまだ卒業生は出ていないがどんな人を目指してほしいか明確にするようにしている。

2. 本年度に定めた寿天敵に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 教育内容：教員の指導力の向上・・・オンライン研修を多用している
- (2) 学生支援：修学支援について有効に活用できるようにしている
- (3) 社会的活動：ボランティアにも積極的に参加できるように促している

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

どんな人材育成をしているか、明文化して広く発信したいと考えている

5学科・・・動物業界で将来的にどんな人材が求められるのか、現状の学科で網羅できていると考えているが、新たに学科新設の必要があるか意見を伺いたい。

(2) 学校運営

3・・・MCL 専門学校グループとして、組織の体制強化の必要性を感じている

6.8・・・システム整備、コンプライアンス体制、MCL グループ単位で強化が必要

(3) 教育活動

1 4、職員の能力開発について・・・学生指導について勉強の必要性があると考えている

インストラクショナルトレーニング・・・受けるのみではなく、活用できるようにしていく

(4) 学修成果

1. 就職率の向上・・・令和4年度については、3月末で1名未内定だった。その卒業生は4月に就職が決まったとのこと。

キャリアプラン・・・就職後、どうしていききたいか？なにをめざすか？自分と向き合うような内容の授業を行うようにしている。

2. 資格取得率の向上・・・VT 国家試験合格率100%を目指している
全国の他校と連携、意見交換を行い、国家資格対策を検討中である。

(5) 学生支援

卒業生に対する支援が不十分。コロナ禍で企業訪問が十分にできていない。卒業生に対する支援、どんなものが望ましいかご意見いただきたい。

(6) 教育環境

施設・設備・・・全館オンラインの利用ができるように Wi-Fi 環境を整備した。活

用については模索中。従前からの課題、看護の実習室、レントゲン室など設備面が不十分。

海外の研修については、以前行っていた「アメリカ・ロサンゼルスでの研修」を再度検討中である。

(7) 学生の受入れ募集

令和5年度の入学・・・77名と定員に近い新入生の人数を確保できている
オープンキャンパスの満足度は高いと感じている。グループ校では募集について苦戦。若者減の時代に対応できるように対策を講じる。

トリマー科が定員超過。ドッグトレーナー科は定員割れ。動物飼育科については定員通り。

(8) 財務 (9) 法令等の遵守

学校法人が主として行っている

(10) 社会貢献・地域貢献

2. ボランティアの要請数が少しずつ回復してきている。社会とつながりながら学生の指導を行ってゆく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

「動物飼育科」について、学科名変更後、初めての卒業生を送り出し、専門士の称号も付与した。

「愛玩動物看護師国家資格」について、養成校の認定を受けた。

5. 意見交換

三上：業界として今後必要となるもの能力・職業はあるか？

佐々木様：動物病院として学生のインターンシップ実習の受け入れ・指導を行っているが、学生が希望すれば入学当初と学科や専攻を変更することは可能なのか（大学であれば編入なども可能）？

三上：転科については可能であるが、学習内容の関係で入学後から期間が過ぎてしまうと難しい場合もある。

佐々木様：初めての看護国試、合格率について思いのほか好ましい結果であり安堵した。獣医師の資格試験について、私立大学では、国家資格の対策委員会を学生が立ち上げ、情報共有を行う。他大学と連携して対策し、合格を目指す。すべての大学で行われているわけではなく、押し付けるものではないが、動機付けにはなると感じている。

芦萱様：動物飼育科の二つのコース設定について良いと思う。ペットの多様化に伴い、エキゾチックアニマルなどについて詳しく学べることは重要。

袖林様：実際に愛玩動物看護師の中でも、本当は動物園や水族館での勤務希望の人がいる。希望の分野へ就職できるチャンスがある学科があるのはいいことだと思う。実習先もちがうので、学科を越えて交流し、意見交換できると良いと思う。

佐々木様：産業動物の実習や見学は普段はできない体験ができて好奇心が満たされるから学生が喜ぶ。数日間であれば、産業動物や大動物、農場実習などやってみてはどうか？葛巻高原牧場などでは以前開催があったと思う。

三上：本校では特別講義などで酪農ヘルパーからの講話を依頼することなどで視野を広げる取り組みも行っている。男子学生を中心に「酪農ヘルパー」等の就職希望者が増えた。

芦萱様：「愛玩動物看護師資格」が国家資格となった。超音波の検査等は実際の動物病院の現場では獣医師の仕事なので、獣医師の業務についても知るために、学生のうちにやる機会をつくってみてはどうか？

三上：「愛玩動物看護師資格」については、学生のうちにどこまでさせるのか、全国的に検討の対象になっているようである。

袖林様：働き方も多様化しているように学生の多様化を感じるが、インターンシップ実習の際の遅刻が散見している。社会人としてのマナーやルールが今の学生には通用しない。動物看護師の技術を教える時間が奪われることから、インターンシップの実習先でゼロから教えるのではなく、学校で教えてきてほしい。

三上：常識の感覚・常識については、学校生活においても課題である。

6. その他
特になし

7. 閉会